

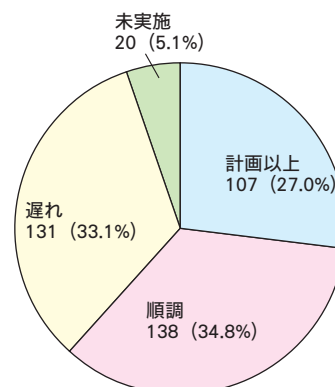
## 2 割弱の指標に「実質的な遅れ」

—いわて復興レポート 2013 から—

### ◇ 第 1 期復興実施計画の進捗率

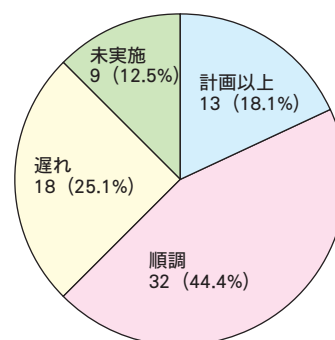
#### 全 体 (396指標)

「計画以上」「順調」	61.8%	(245指標)
「遅れ」「未実施」	38.2%	(151指標)
うち実質的な遅れ	18.7%	(74指標)



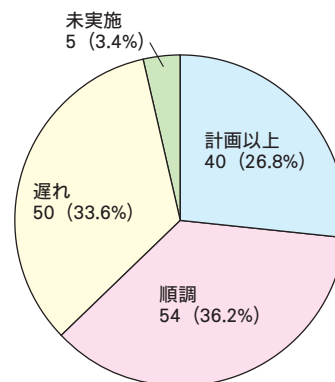
#### 原則 1 「安全」の確保 (72指標)

「計画以上」「順調」	62.5%	(45指標)
「遅れ」「未実施」	37.5%	(27指標)
うち実質的な遅れ	34.7%	(25指標)



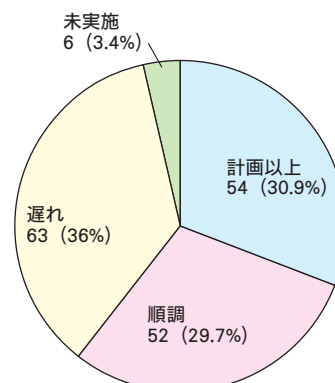
#### 原則 2 「暮らし」の再建 (149指標)

「計画以上」「順調」	63.0%	(94指標)
「遅れ」「未実施」	37.0%	(55指標)
うち実質的な遅れ	14.8%	(22指標)



#### 原則 3 「なりわい」の再生 (175指標)

「計画以上」「順調」	60.6%	(106指標)
「遅れ」「未実施」	39.4%	(69指標)
うち実質的な遅れ	15.4%	(27指標)



## ◇現状分析

### 原則1 「安全」の確保

- ・実質的な遅れは3原則の中で最も高い割合となっており、その要因は市町村のまちづくり計画との調整など「まちづくりの遅れの影響」を受けたためとするものが多い。
- ・県民の復興の実感は「復興ウォッチャー調査」によると、災害に強い安全なまちづくりが「達成した」「やや達成した」との回答割合が全体の12.6%に対し「あまり達成していない」「達成していない」の割合は61.3%と県民の実感が低い。「復興に関する意識調査」の復興推進ニーズを見ると、「防潮堤や防波堤などの整備」など、高い順位のものが多い。
- ・事業進捗の遅れや、事業の具体化に向け準備が進められているものの、被災者の目に見えるものになっていないことが、県民意識に影響を与えていると考えられる。

### 原則2 「暮らし」の再建

- ・県民の復興の実感は「復興ウォッチャー調査」によると、被災者の生活について「回復した」「やや回復した」との回答の割合は49.6%で、「あまり回復していない」「回復していない」の27.7%を上回る一方、「復興に関する意識調査」の復興推進ニーズ度は、「被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給」や「震災による離職者の再就職に向けた取り組み」など、高い順位のものが多い。
- ・震災後の緊急的な取り組みについては一定の成果があったが、今後、本格的な復興に向けた中長期的な支援が望まれていること、また住宅や宅地の供給、医療機関、社会福祉施設の機能回復などの、ニーズが高い事業に進捗の遅れが生じていることが、県民意識に影響を与えていると考えられる。

### 原則3 「なりわい」の再生

- ・県民の復興の実感は「復興ウォッチャー調査」によると、地域経済について「回復した」「やや回復した」の回答の割合が41.6%であり、「あまり回復していない」「回復していない」の28.3%を上回っている。また「復興に関する意識調査」の復興推進ニーズ度は、「被災した漁船や養殖施設等の復旧・整備」をはじめ水産業関係を中心に順位を下げている。
- ・「被災事業所復興状況調査」によると「再開済」又は「一部再開済」の事業所の割合は78.9%であるが、建物や設備の復旧状況は「およそ半分以上復旧」と回答した事務所は48.0%。業績（売上等）の状況は「震災前と同程度以上」と回答した事業所が「建設業」は高く80.5%であるが、他の産業は30%前後であり、特に「水産加工業」は11.7%と低い。
- ・計画事業の進捗などにより、地域経済全体としては状況は改善に向かっているものの、産業ごとで偏りが大きくなっていると考えられる。

## ◇今後の方向性

**原則1 「安全」の確保**

- ・ハード施策とソフト施策を組み合わせた多重防災型まちづくりを推進するとともに、復興道路等の整備による災害に強い交通ネットワークの構築に引き続き取り組むことが必要。
- ・被災者に対して、復興のまちづくりの推進に関する各種情報を分かりやすく、きめ細かに提供し、住民との相互理解と協働による取り組みを促進していくことが必要。

## ◎ 分野別の今後の方向性

## 分野Ⅰ 防災のまちづくり

- ・津波防災施設の復旧・整備や、防災教育の充実による防災文化の醸成・継承等の取り組みなどによる多重防災型まちづくりの推進が必要。
- ・整備の進捗状況など被災者へのきめ細かな情報提供が引き続き必要。

## 分野Ⅱ 交通ネットワーク

- ・復興道路等の道路整備、道路防災対策や橋梁の耐震化を進めることが必要。
- ・沿岸地域の鉄道路線の早期復旧が必要。

**原則2 「暮らし」の再建**

- ・恒久的な住宅の確保に向けた取り組みや長期・安定的な雇用の創出を行うことで被災者の生活の再建を図るとともに、被災者の心身の健康を守るため保健・医療・福祉体制の整備が必要。
- ・長期化する応急仮設住宅での生活を支えるため、介護、福祉、こころのケアなどソフト面での支援充実が必要。

## ◎分野別の今後の方向性

## 分野Ⅰ 生活・雇用

- ・災害公営住宅整備の推進や被災者の住宅再建に対する支援、また生活の安定に向け、長期・安定的な雇用の創出や新たな産業分野に対応する人材の育成に向けた取り組みの推進が必要。

## 分野Ⅱ 保健・医療・福祉

- ・医療機関の復興支援、被災遺児・孤児への支援、子どものこころのケアなどへの支援や、災害時要援護者支援体制の構築などへの取り組みが必要。
- ・応急仮設住宅での生活が長期化する中、ハード面だけではなく、介護、福祉、こころのケアなどのソフト面での支援も中長期にわたり継続が必要。

### 分野Ⅲ 教育・文化

- ・「いわての復興教育」の推進、幼児・児童・生徒のこころのサポート、及び県立学校施設の防災機能強化など児童生徒の安全で安心な教育環境の確保に向けた取り組みが引き続き必要。

### 分野Ⅳ 地域コミュニティ

- ・被災地の地域コミュニティの再生・活性化や、復興支援活動の担い手となるNPOの運営基盤強化などの取り組みが必要。

### 分野Ⅴ 市町村行政機能

- ・復興事業が本格化する中で、各分野の専門的知識を有するマンパワーの確保が不可欠であるため、被災市町村への人的支援の継続が必要。

## 原則3 「なりわい」の再生

- ・生活基盤等の早期復旧・整備や放射性物質対策、また被災企業の本格的な事業再開に向けた早期復旧支援や地域商店街の再生に向けた支援を継続して取り組むことが必要。
- ・商店街の本格的な復興や被災地の観光など、復興の進展によって生じてくる新たなニーズを捉えながら、まちづくりの進捗に合わせた支援を継続していくことが必要。

### ◎分野別の今後の方向性

#### 分野Ⅰ 水産業・農林業

- ・漁業と流通・加工業の一体的な再生や沿岸地域の気象特性を生かした園芸産地づくり、木材加工施設の整備などの推進が必要。
- ・農林水産物の放射性物質検査や牧草地の除染、原木しいたけの生産再開に向けた取り組みを引き続き支援しつつ、本県の安全・安心な農林水産物の魅力を国内外に発信し、信頼の回復と評価の向上を図っていく。

#### 分野Ⅱ 商工業

- ・市町村のまちづくりの進捗に合わせ、商工団体と連携を図りつつ、地域商店街再生に向けた支援を行うことが必要。
- ・被災企業などへの支援策においては、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業の継続や、二重ローン問題への支援などが必要。

#### 分野Ⅲ 観光

- ・観光客入込み数は、県単位では震災前の水準に回復しており、この流れを維持しつつ、被災地への誘客施策を実施することが必要。

## ※参考

### 復興に関する意識調査

Q. 岩手県全体をみて震災からの復興が進んでいると感じますか。

- A. 「進んでいると感じる」 および 「やや進んでいると感じる」 10.4%  
 「やや遅れていると感じる」 および 「遅れていると感じる」 72.2%

Q. あなたがお住まいの市町村をみて、震災からの復旧・復興が進んでいると感じますか。なお、震災時にお住まいだった市町村から転居されている方は、震災時にお住まいだった市町村の状況についてお答えください。

- A. 「進んでいると感じる」 および 「やや進んでいると感じる」 17.1%  
 「やや遅れていると感じる」 および 「遅れていると感じる」 30.4%

### 復興促進ニーズ度（上位10位）

- 1位 被災者が安心して暮らせる新たな住宅や宅地の供給
- 2位 震災による離職者の再就職に向けた取り組み
- 3位 防潮堤や防波堤などの整備
- 4位 被災した事業所の復興や新たな事業所の進出による雇用の場の確保
- 5位 放射能への安全対策
- 6位 被災した医療機関や社会福祉施設などの機能回復
- 7位 被災した学校施設等の復旧・整備
- 8位 災害時の避難経路の整備や迅速な避難が可能な仕組みづくり
- 9位 被災した農地などの復旧・整備
- 10位 被災した漁港の復旧・整備

### 復興ウォッチャー調査

Q. あなたの周囲をご覧になって、災害に強い安全なまちづくりは被災前と比べてどの程度達成したと感じますか？

- A. 「達成した」 および 「やや達成した」 12.6%  
 「あまり達成していない」 および 「達成していない」 61.3%

Q. あなたの周囲をご覧になって、被災者の生活は、被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

- A. 「回復した」 および 「やや回復した」 49.6%  
 「あまり回復していない」 および 「回復していない」 27.7%

Q. あなたの周囲をご覧になって、地域経済は、被災前と比べてどの程度回復したと感じますか？

- A. 「回復した」 および 「やや回復した」 41.6%  
 「あまり回復していない」 および 「回復していない」 28.3%